

## 雷注意報への対応について

◎ 駅伝大会当日、雷注意報が発令され、コース場に雷が落ちると予期される場合、以下の対応を行う。

(1) 朝、雷注意報が発令され、コース場に雷が落ちると予期される場合。

→スタート時間を遅らせ、大会を実施する。

※午後まで改善が見られない場合、会長、理事長、審判長と相談し、延期を決定する。

※延期の日程、コースに関しては、大会要項をご確認下さい。

(2) 競走中、コース場に雷が落ちると予期される場合、以下の対応を行う。

1) 以下、伝達経路と役割

①雷の兆候が見られた後、速やかに会長に報告する。

②会長が大会中断を判断する。判断した時間を基準に考える。

③会長の判断後、本部から各区の主任へ連絡を行う。

④各走者は、ゴールしてから、避難する。(タイム計測は行う。)

⑤理事を中心に選手を安全な場所へ避難させる。(避難場所を確保する)

※避難場所は、各学校が準備したテントを利用する。

2) 競技に関して

○会長が大会中断を判断した時間の区間以降の競技は、スタート時間を決めて競技を行う。

例：会長が9時24分25秒に大会中断の判断を下す。

女子の選手団は、3区の競走中である。

○3区の選手は、ゴール次第避難させる。

○次は、4区の1位チームから順序よくスタートさせる。

(タイム差順にスタート)

※会長の大会中断は、なるべく区間走者が次走者にタスキを渡す手前が良い。

(競技を中断させやすい。)